平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	コミュニケーション演習(Communication Seminar)			**授業コード**	A029051
担当教員名	山本　義史、安田　幸夫、清水　孝子、杉浦　嘉雄、藪内　聰和			**科目ナンバリングコード**	A10304
配当学年	1	**開講期**	後期		
必修・選択区分	選択	**単位数**	2		
履修上の注意または履修条件	受講心得に準じます。				
受講心得	①第1回に重要なオリエンテーションがありますから、第1回から出席した人のみ受講を認めます。また、第15回は、最終論文を授業中に書いてもらいますから、必ず出席してください。 ②演習のため、授業は講義形式よりも話し合いやグループ学習形式で進めていきます。コミュニケーションの基礎として、知らない人とでも話すように努力すること(ほとんど毎回グループ替えをします)、他者の話がしっかり聴けること、大人数の前でも恥ずかしがらすに自己表現できること、他者と協力して作業ができること、さらにそれらが円滑に進むように授業者の指示に応じられることを最重要視します。したがって、それらが守られないときに受講停止になることがあります。 ③ときどき、ホームワーク(宿題)を提出させることがあります。成績は、出席(全15回中11回以上)、ホームワークの提出、コミュニケーションへの参加態度および毎回授業中の小論文および最終論文を中心に採点を行います。毎回の小論文は、意味のある文章であって、かつ350字以上400字を採点基準とします。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	なし				
関連科目	人間力概論、文章表現基礎講座				

授業の目的	人間力形成の基礎として、コミュニケーション・スキル、協働、思いやり、自己探求、自己表現、問題解決などをグループでの話し合いや協同学習をとおして考え、身につけます。 具体的には、知らない人とでも話せるようになること、他者の話を傾聴できること、自己表現できること、他者とも協働しながら問題解決できるようになることを主としてめざします。また、こうした基礎的な力をもとに生きるための力を考えていきます。
授業の概要	実習や協同学習を中心として、授業中積極的に参加することによってコミュニケーション・スキルを高めていきます。

○授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 : オリエンテーション 授業心得・諸注意・授業の進め方について説明します。事前アンケートと小論文の作成を行います。ホームワーク(夏休みの思い出、春休みに挑戦したいことについて情報を集めます)	ホームワーク
第 2 週 : グループでの話し合い 夏休みの思い出、春休みに挑戦したいことについて・分かち合い、小論文、ホームワーク(自分の家庭・家族、出身地の観光地・名物、得意な技術・スキル、遊び・趣味など自慢できるものについて情報を集めます)	ワークシート ホームワーク
第 3 週 : グループでの話し合い 自分の家庭・家族、出身地の観光地・名物、得意な技術・スキル、遊び・趣味など自慢できるものについて、分かち合い、小論文、ホームワーク(秋らしいものについて情報を集めます)	ワークシート ホームワーク
第 4 週 : グループでの話し合い 秋探し・裏山小散策、分かち合い、小論文、ホームワーク(正月の過ごし方について情報を集めます)	ワークシート ホームワーク
第 5 週 : グループでの話し合い 正月の過ごし方について、分かち合い、小論文	ワークシート
第 6 週 : グループでの話し合い 心を広くする(常識クイズ)、分かち合い、小論文	ワークシート

第 7 週 ： グループでの話し合い 違いを受け入れる、分かち合い、小論文、・ホームワーク（あなたの好きな色について情報を集めます）	ワークシート ホームワーク
第 8 週 ： グループでの話し合い あなたの好きな色、分かち合い、小論文	ワークシート
第 9 週 ： グループ学習 表情・ノンバーバルコミュニケーション、分かち合い、小論文	ワークシート
第10週： グループ学習 Back to back、分かち合い、小論文	ワークシート
第11週： グループ学習 音楽によるコミュニケーション、分かち合い、小論文	ワークシート
第12週： グループ学習 テーマを設定した話し合い1「生きていくのに必要なもの」、発表、小論文	ワークシート
第13週： グループ学習 前回作品鑑賞・検討、テーマを設定した話し合い2「なぜ、コミュニケーショションが必要か」、発表、小論文	ワークシート
第14週： グループ学習 前回作品鑑賞・検討、テーマを設定した話し合い3「うまくコミュニケーショションをするにはどうしたよいか→各グループでマニュアル作り」、発表、小論文	ワークシート
第15週： 振り返り、最終論文、事後アンケート 前回作品鑑賞・検討、ワークシートによる全13回分ふり返り、自己評価、最終論文、事後アンケート	最終論文のためにワークシートをもってきます。
第16週： 期末試験なし	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	幅広く人間関係やコミュニケーションに監視をもって、積極的行動をします。
【知識・理解】	コミュニケーションや人間関係の在り方を演習を通して修得します。
【技能・表現・コミュニケーション】	演習を通してコミュニケーション・スキルや表現力を高めます。
【思考・判断・創造】	どういう状況で、どのようなコミュニケーションが適切か思考・判断し、創造的に行動します。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**56点**		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。				
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**30点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**14点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	